

2020年3月期決算説明会資料

2020年5月26日

株式会社タクマ

証券コード：6013



技術を大切に
人を大切に
地球を大切に

- **1. 会社概要**
- **2. 2020年3月期の連結業績**
- **3. 中期経営計画の進捗と市場環境**
- **4. 2021年3月期の連結業績予想**
- **5. 補足資料**



- 1. 会社概要**
2. 2020年3月期の連結業績
3. 中期経営計画の進捗と市場環境
4. 2021年3月期の連結業績予想
5. 補足資料



商号	株式会社タクマ
設立	1938年6月10日
代表者	代表取締役社長兼社長執行役員 南條 博昭
本社所在地	兵庫県尼崎市金楽寺町二丁目2番33号
資本金	133億円
事業内容	各種ボイラ、機械設備、公害防止プラント、環境設備プラント、冷暖房ならびに給排水衛生設備の設計、施工及び監理、土木建築、その他工事の設計、施工及び監理
事業所	本社、大阪事務所、東京支社、北海道支店、東北支店、中部支店、九州支店、沖縄営業所、播磨工場〔海外〕台北支店
従業員数	875人〔連結〕3,816人（2020年3月末現在）



企業ビジョン

再生可能エネルギーの活用と環境保全の分野を中心にリーディングカンパニーとして社会に必須の存在であり続け、2020年度に経常利益100億円を目指す。

事業活動を通じて、持続可能な開発目標（SDGs）に対応した取り組みを行っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



■ 環境・エネルギー（国内）

一般廃棄物処理プラント、バイオマス発電プラント、水処理含むその他プラントなど



■ 環境・エネルギー（海外）

バイオマス発電プラント、廃棄物処理プラントなど



■ 民生熱エネルギー

小型貫流ボイラ、真空式温水機など



■ 設備・システム

建築設備、半導体産業用設備、クリーンシステムなど



1. 会社概要
2. 2020年3月期の連結業績
3. 中期経営計画の進捗と市場環境
4. 2021年3月期の連結業績予想
5. 補足資料



- ▶ 増収減益
- ▶ 経常利益100億円以上を達成
- ▶ 堅調な受注により受注残高は高水準で推移

(億円)

	2019年 3月期	2020年 3月期		増減
	実績	期初予想	修正予想※	対前年度
受注高	1,798	1,400	-	△309
売上高	1,219	1,300	1,340	125
営業利益	116	118	93	△20
経常利益	123	125	100	△20
親会社株主に帰属する当期純利益	88	90	70	△14
1株当たり当期純利益 (円)	107.10	108.87	84.95	△16.74
1株当たり配当額 (円)	22.00	26.00	31.00	9.00
受注残高	3,309	3,409	-	143

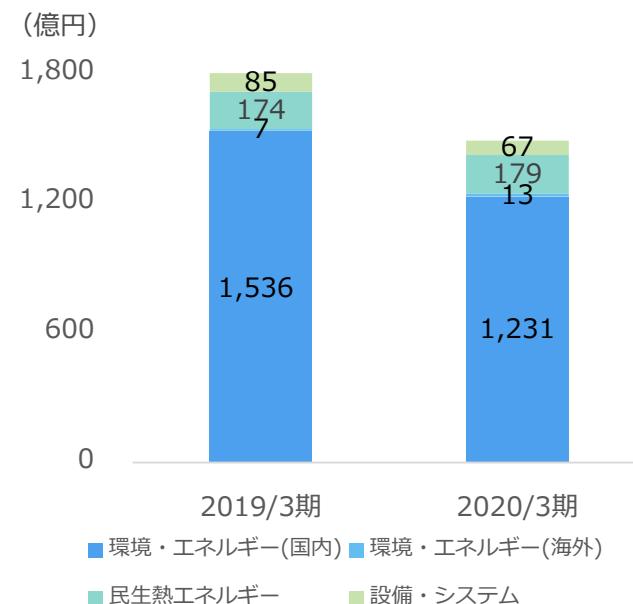
※ 4月22日に開示した修正予想

(億円)

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減
環境・エネルギー (国内)	1,536	1,231	△304
環境・エネルギー (海外)	7	13	5
民生熱エネルギー	174	179	4
設備・システム	85	67	△17
計	1,804	1,492	△312
調整額 (セグメント間消去ほか)	△6	△3	2
合計	1,798	1,488	△309

ポイント

環境・エネルギー（国内）事業においてごみ焼却プラントやバイオマス発電プラントを中心に堅調な需要を着実に受注し引き続き高水準を維持



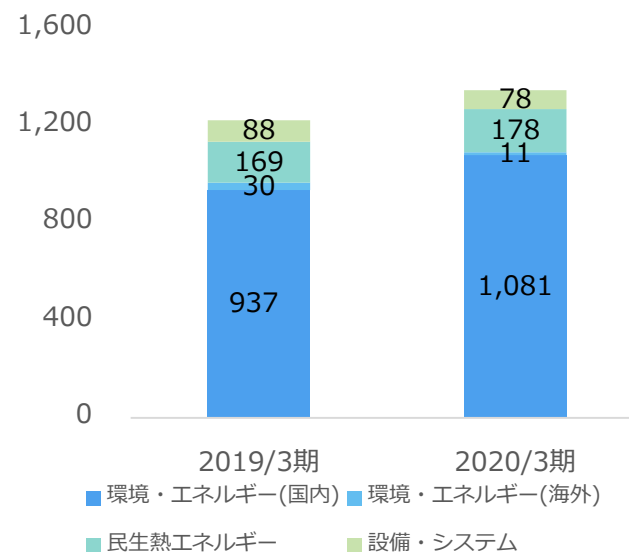
(億円)

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減
環境・エネルギー (国内)	937	1,081	143
環境・エネルギー (海外)	30	11	△19
民生熱エネルギー	169	178	9
設備・システム	88	78	△9
計	1,225	1,349	124
調整額 (セグメント間消去ほか)	△6	△5	1
合計	1,219	1,344	125

ポイント

環境・エネルギー（国内）事業において
ごみ焼却プラントの建設工事が順調に
進捗したことから増収

(億円)



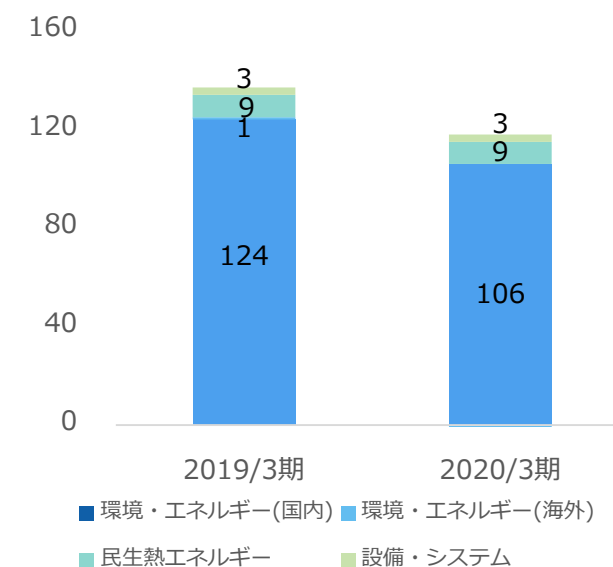
(億円)

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減
環境・エネルギー (国内)	124	106	△17
環境・エネルギー (海外)	1	△2	△3
民生熱エネルギー	9	9	0
設備・システム	3	3	0
計	138	117	△20
調整額 (セグメント間消去ほか)	△22	△21	0
合計	116	96	△20

ポイント

環境・エネルギー（国内）事業の引き渡した産業廃棄物処理プラントにおいて一部の不具合により工事損失引当金を計上したことなどから減益

(億円)



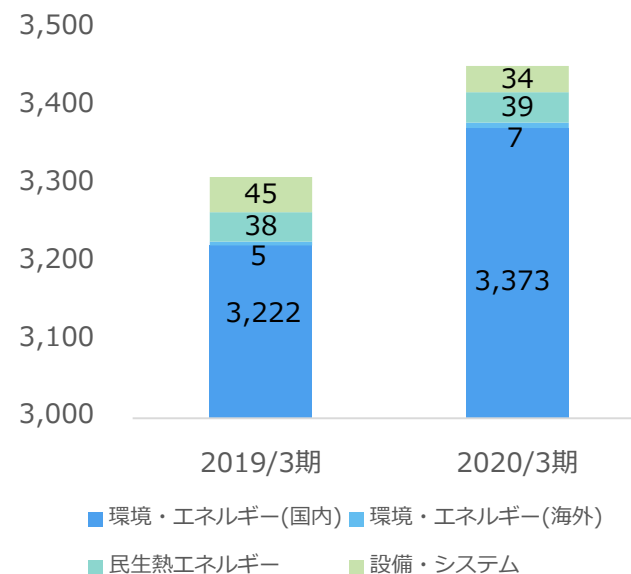
(億円)

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減
環境・エネルギー (国内)	3,222	3,373	150
環境・エネルギー (海外)	5	7	2
民生熱エネルギー	38	39	0
設備・システム	45	34	△10
計	3,311	3,454	142
調整額 (セグメント間消去ほか)	△2	△1	1
合計	3,309	3,453	143

ポイント

堅調な受注により高水準を維持
環境・エネルギー（国内）事業において
ごみ焼却プラントが増加

(億円)



- ▶ 受取手形及び売掛金の増加により総資産は増加
- ▶ 親会社株主に帰属する当期純利益により純資産は増加

(億円)

	2019年3月末	2020年3月末	増減
総資産	1,559	1,634	75
純資産	830	850	19
自己資本比率 (%・ポイント)	53.0	51.8	△1.2
1株当たり純資産 (円)	1,000.34	1,043.15	42.81

播磨工場の増強

再生可能エネルギーの利用拡大を背景に、高いボイラ需要、ならびにボイラの大型化、高温高圧化など顧客ニーズの多様化等に対応すべく、新工場の建設を決定しました。

【新工場のポイント】

- ・ 高品質なモノづくり方針の継承
- ・ 抜本的に見直した設備構成や配置・動線
- ・ 働く人や周辺環境にやさしいサステナブルな工場

アフターサービス拠点建設～Supply Chain Lab

顧客の安定的な事業運営を実現するためにアフターサービス拠点を新工場に併設させます。

【アフターサービス拠点のポイント】

- ・ 部品のストック
- ・ ICTの活用
- ・ 遠隔監視・運転支援拠点Solution Labとの連携

- 稼働予定：2022年12月
- 建設予定地：(播磨工場敷地内)
兵庫県高砂市荒井町新浜1丁目2番1号
- 投資総額：約130億円



新工場およびSupply Chain Labの完成予想図

一般廃棄物処理プラント事業の取組み

(関連するSDGs)



総合評価方式への対応の強化

2005年に施行された「公共工事の品質確保の促進に関する法律(品確法)」に則り、ほとんどの自治体が総合評価方式の一般競争入札を採用しており、価格以外の「非価格審査項目」の内容の高度化ならびに重要性の高まりを背景に、より戦略的かつ効果的な提案をできる体制を構築しました。

さいたま市向けごみ処理施設整備・運営事業を受注

本事業は、さいたま市内の4つのごみ処理施設のうち、老朽化が進む2施設を統合し、DBO方式により、新たに高効率ごみ発電施設およびマテリアルリサイクル推進施設を建設するもので、施設の設計・建設業務ならびに、施設引渡し後15年間の運営業務を受託しました。

今後も顧客ニーズに応じたプラントを提供し、循環型社会の形成に貢献してまいります。

【同施設のポイント】

「めぐるまち（循環型都市）の創造」の具現化を目指す

- ・ 最終処分場の低減
 - ・ 高効率発電
 - ・ 施設の強靱化
 - ・ 安全性に配慮した施設運営
- 建設地：さいたま市見沼区大字膝子626番地1外
 - 事業内容：施設の設計・建設、運営業務
(選別設備除く)ならびに既存施設の解体撤去工事
 - 設計・建設期間：2020年3月～2027年3月
 - 運営期間：2025年4月～2040年3月
 - 契約金額：515億8,600万円(消費税等相当額を含まず)



完成予想図

中国木材株式会社 郷原工場および日向工場向け バイオマス発電設備を受注



製材、集成材、プレカットを手がける大手総合木材企業の中国木材株式会社よりバイオマス発電設備を受注しました。

受注した2件いずれのプラントも燃料として間伐材や工場から発生するバークやオガなどの様々な副産物を活用し、発電した電気は固定価格買取制度（FIT）の活用により電気事業者へ売電される予定です。

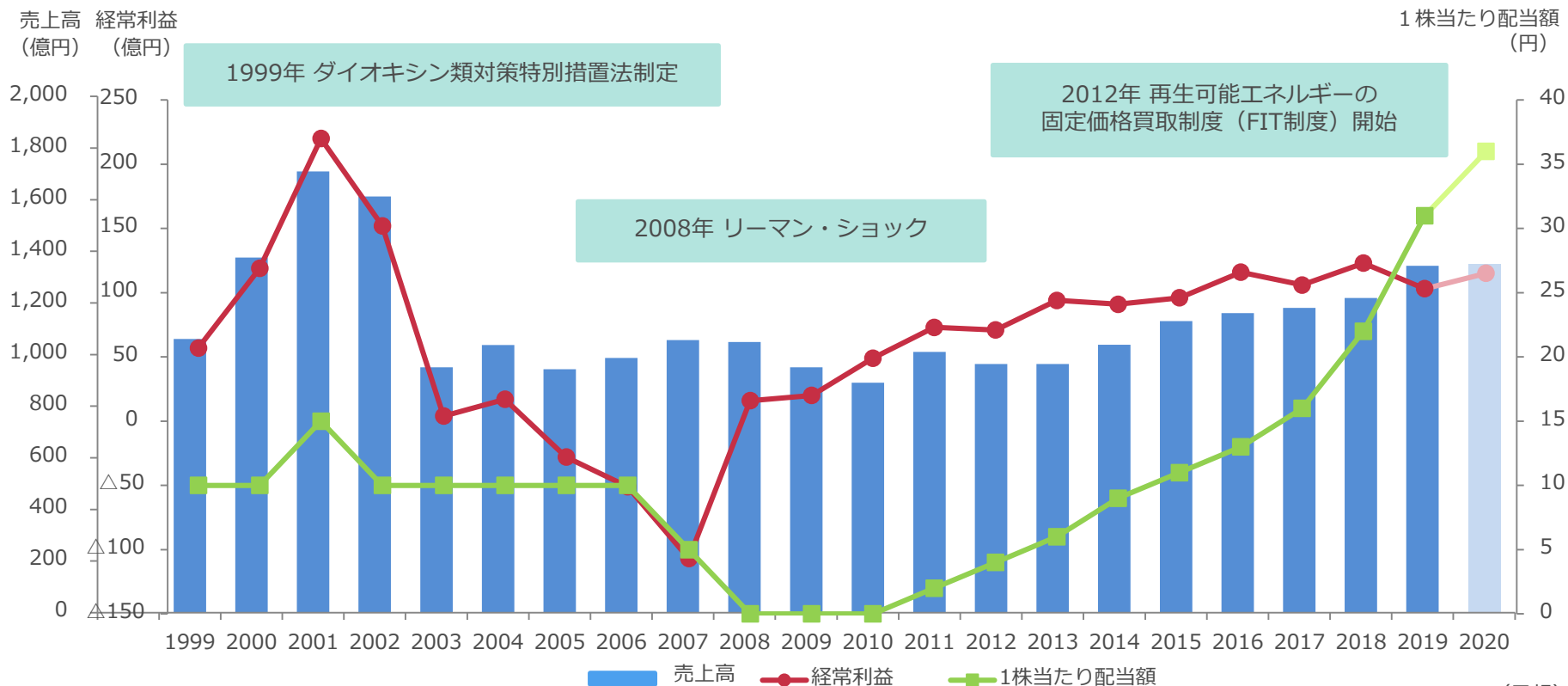
これからも当社は多種多様なバイオマスの特性に対応した高効率なプラントのご提供を通じて、再生可能エネルギーの普及と温室効果ガスの排出削減に貢献していきます。

【バイオマス発電設備概要】

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| ■ 工事名称：中国木材バイオマス発電所(郷原) | ■ 工事名称：中国木材バイオマス発電所(日向第2) |
| ■ 設置場所：広島県呉市 | ■ 設置場所：宮崎県日向市 |
| ■ 発電規模：約10,000kW | ■ 発電規模：14,500kW |
| ■ 使用燃料：一般木材、未利用材 | ■ 使用燃料：一般木材、未利用材 |
| ■ 完成予定：2022年 | ■ 完成予定：2023年 |

- 1. 会社概要
- 2. 2020年3月期の連結業績
- 3. 中期経営計画の進捗と市場環境**
- 4. 2021年3月期の連結業績予想
- 5. 補足資料

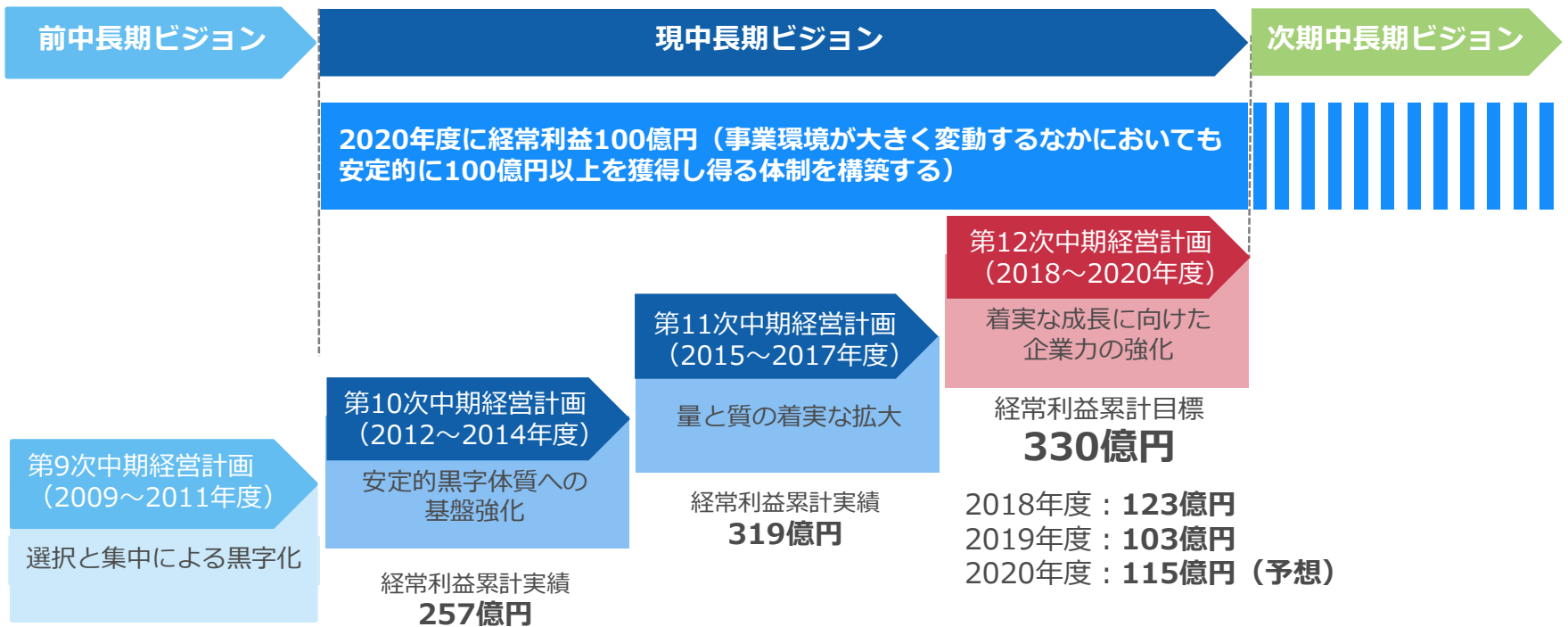




年度	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
売上高 (億円)	1,060	1,376	1,709	1,612	951	1,037	943	987	1,056	1,049	951	891	1,010	963	963	1,038	1,130	1,163	1,181	1,219	1,344	1,350
経常利益 (億円)	52	119	220	152	4	17	△ 28	△ 51	△ 107	16	20	43	73	71	94	91	96	116	106	123	103	115
1株当たり配当額 (円)	10.00	10.00	15.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	5.00	0.00	0.00	0.00	2.00	4.00	6.00	9.00	11.00	13.00	16.00	22.00	31.00	36.00

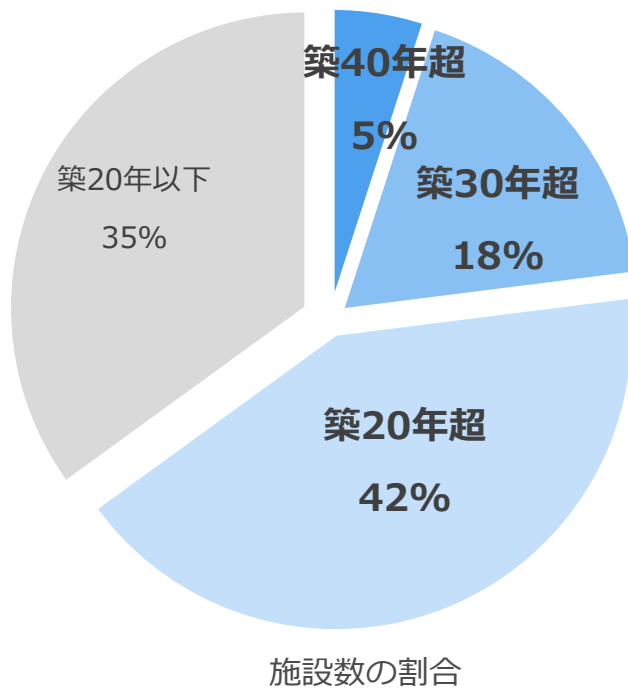
- ▶ 現在の中長期ビジョンの最終ステージ
- ▶ 将来予想される事業環境の変化を見据え、ビジョンの達成とその後の着実な成長に向けて企業力を高めていく

再生可能エネルギーの活用と環境保全の分野を中心に **リーディングカンパニーとして社会に必須の存在**であり続ける



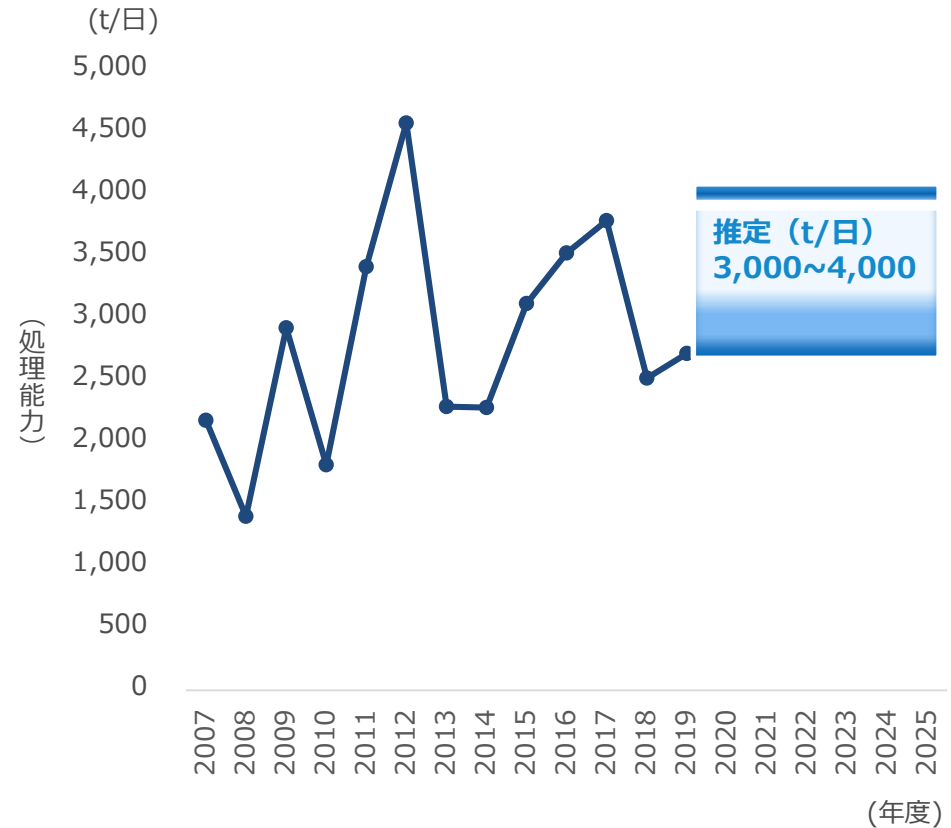
▶一般廃棄物処理プラント関連の工事需要は継続

一般廃棄物処理プラントの老朽化の現状



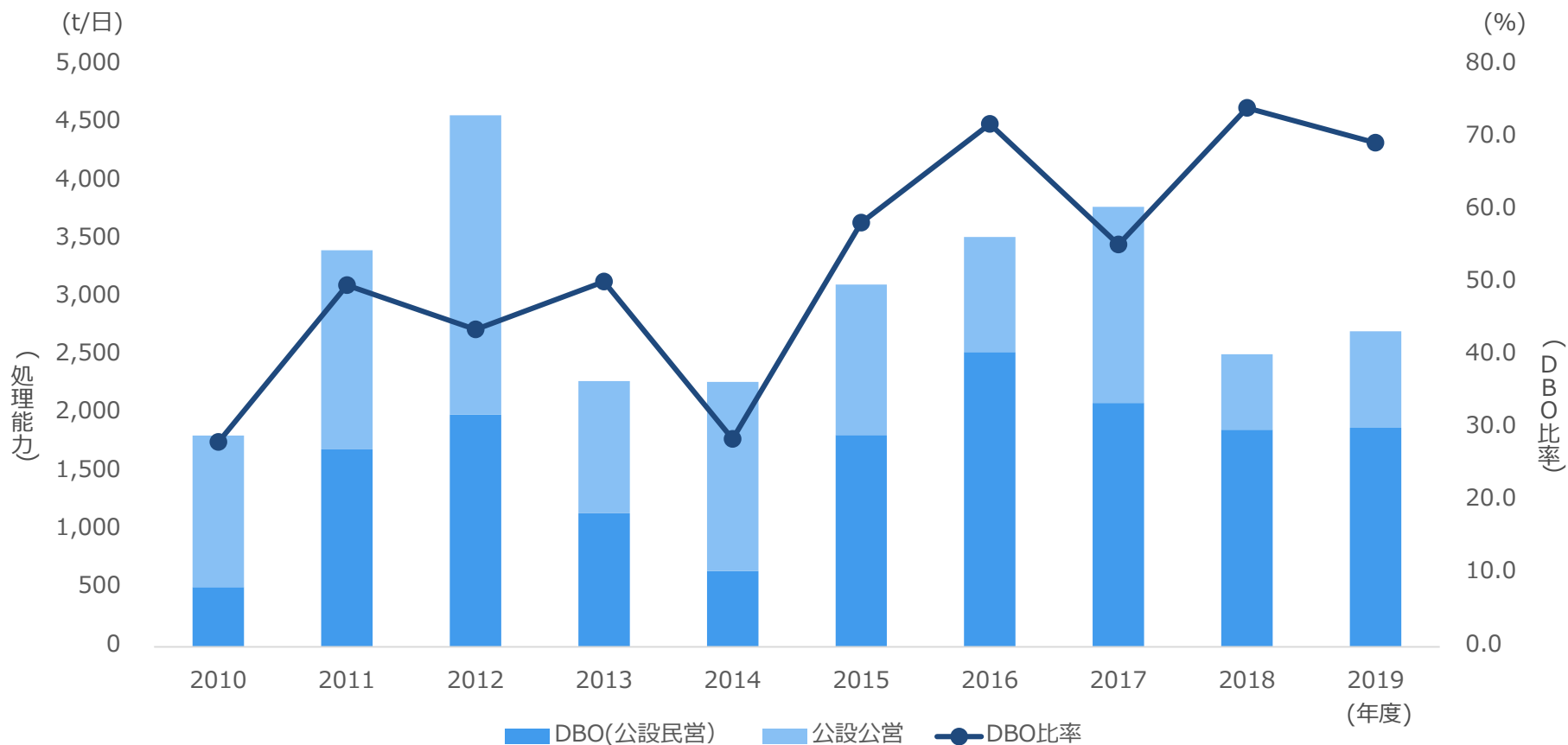
出所：環境省「一般廃棄物処理実態調査結果 平成30年度」をもとに当社作成

一般廃棄物処理プラントの市場規模の推移



※ 上記は当社の調査結果をもとに作成

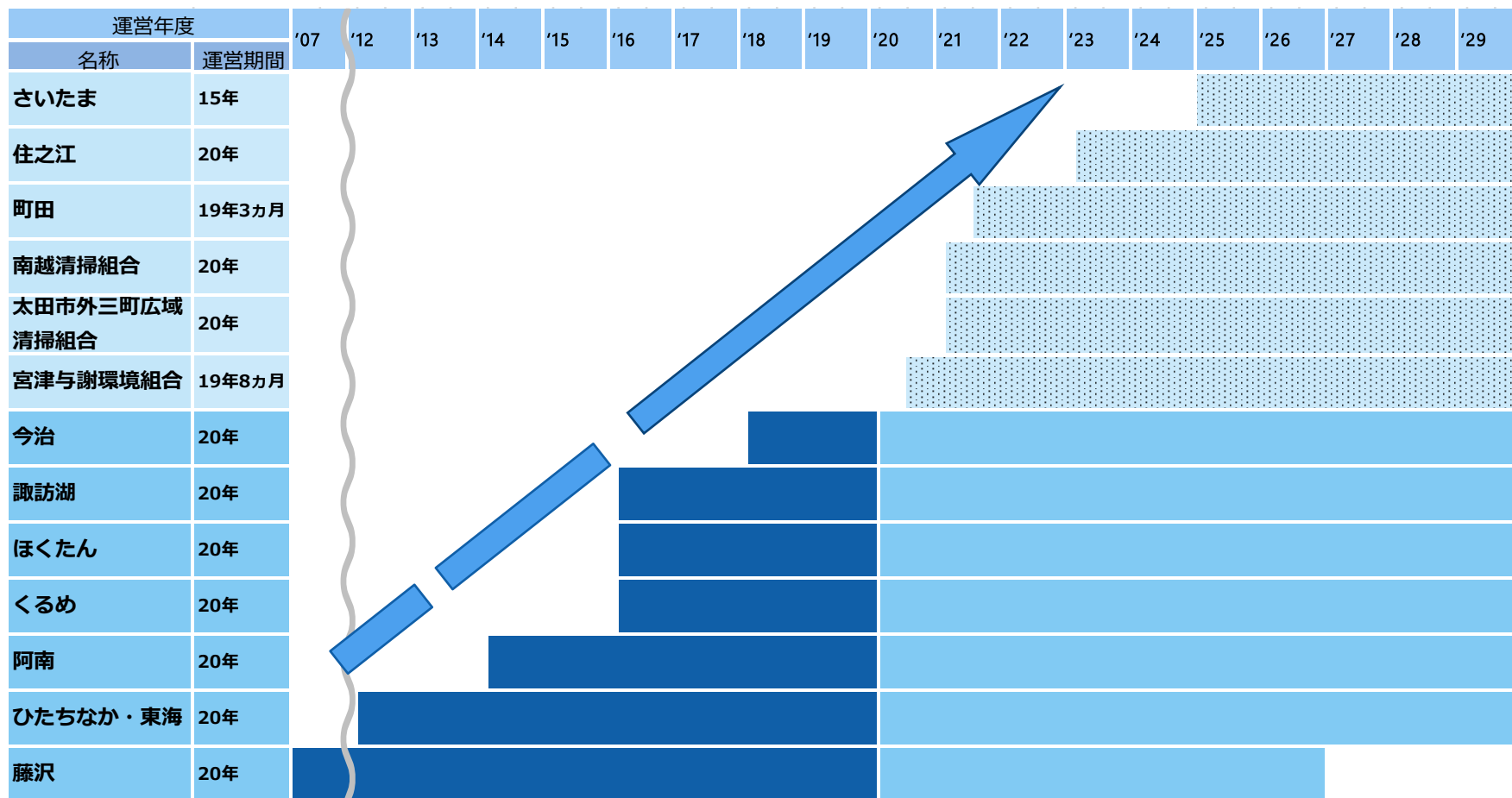
▶ 入札件数に占めるDBO方式の存在感が強まりつつある



※ DBO：公共が資金調達を負擔し、施設の設計、建設、運営を民間に委託する方式 (Design・Build・Operate)

※ 上記は当社の調査結果をもとに作成

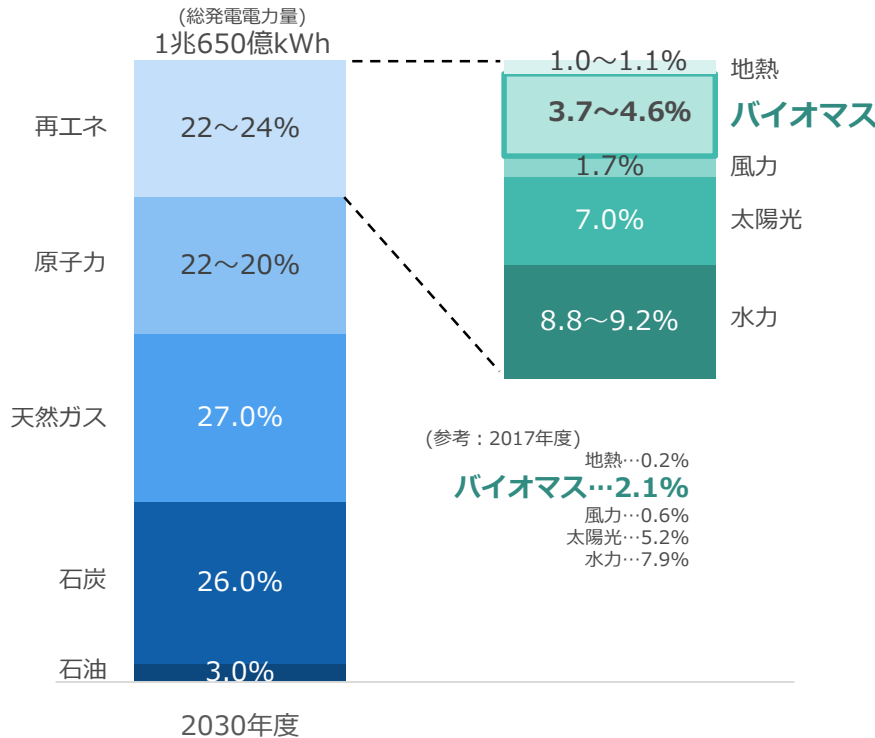
▶ 当社のDBO方式の長期運営事業件数は順調に増加



※ 敬称略

- 2030年度目標のバイオマス発電比率達成のための需要が継続
- 当社が得意とする中小型の発電プラントの買取価格は高価格をキープ
- 地産地消の電源として小型の発電プラント（2,000kW未満）の需要拡大期待

エネルギーミックス



燃料		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
メタン発酵ガス		39円				
間伐材等	2,000kW以上	32円				
	2,000kW未満	40円				
一般木材等	20,000kW以上	24円	24円	21円	入札移行(10,000kW以上)	
	20,000kW未満	24円	24円	24円(10,000kW未満)		
液体燃料	20,000kW以上	24円	24円	21円	入札移行	
	20,000kW未満	24円	24円	入札移行		
建設資材廃棄物		13円				
一般廃棄物その他		17円				

出所：経済産業省 資源エネルギー庁「日本が抱えているエネルギー問題」をもとに当社にて作成

出所：経済産業省 資源エネルギー庁 ホームページをもとに当社にて作成

- 1. 会社概要
- 2. 2020年3月期の連結業績
- 3. 中期経営計画の進捗と市場環境
- 4. 2021年3月期の連結業績予想**
- 5. 補足資料



- ▶ごみ焼却プラント、バイオマス発電プラントの需要は引き続き堅調
- ▶プラント建設工事の進捗により増収増益
- ▶1株当たり配当額についても増配予定

(億円)

	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (予想)	増減
受注高	1,488	1,800	311
売上高	1,344	1,350	5
営業利益	96	108	11
経常利益	103	115	11
親会社株主に帰属する当期純利益	74	84	9
1株当たり当期純利益 (円)	90.36	103.52	13.16
1株当たり配当額 (円)	31.00	36.00	5.00
受注残高	3,453	3,903	450

※ 現時点では新型コロナウイルス感染症による影響については上記予想に織り込んでおりません。

(億円)

	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (予想)
【受注高】		
環境・エネルギー（国内）	1,231	1,525
環境・エネルギー（海外）	13	40
民生熱エネルギー	179	170
設備・システム	67	70
【売上高】		
環境・エネルギー（国内）	1,081	1,105
環境・エネルギー（海外）	11	10
民生熱エネルギー	178	170
設備・システム	78	70
【受注残高】		
環境・エネルギー（国内）	3,373	3,793
環境・エネルギー（海外）	7	37
民生熱エネルギー	39	39
設備・システム	34	34

- 1. 会社概要
- 2. 2020年3月期の連結業績
- 3. 中期経営計画の進捗と市場環境
- 4. 2021年3月期の連結業績予想
- 5. 補足資料



2017年
発電出力50,000kWの
バイオマス発電プラントを受注

2012年
再生可能エネルギーの固定価格買取制度
(FIT制度) 開始

1999年
ダイオキシン類対策特別措置法
制定

1986年
海外で初めてごみ焼却プラント
を納入

2000年～

再生可能エネルギーと環境保全分野での飛躍を目指し、さまざまな廃棄物やバイオマスのエネルギー利用と無害化技術を提供。海外の現地法人設立を進め、日本のみならずアジアを中心に世界に向けてタクマの技術を展開しています。

1972年～1999年

1972年に現在の「株式会社タクマ」に社名を変更。産業界における省エネ需要、都市ごみの増加と多様化への対応、水処理設備による水質の改善など、さまざまな要望に応える技術開発に取り組み発展しました。

1951年～1971年

プラントから排出される熱を利用した廃熱回収ボイラの開発、近代的なごみ焼却技術の開発、水処理市場へ進出するなど、ボイラメーカーだけでなく、環境衛生装置メーカーとしての地位を確立しました。

1963年
日本初の連続機械式
ごみ焼却プラント納入

1912年～1950年

1912年「タクマ式汽罐」を世に送り出し、1938年にはボイラを通じて社会へ貢献する「汽罐報国」の精神を掲げ「田熊汽罐製造株式会社」を創立。タクマの礎となる企業姿勢や考えが生まれました。

1949年
業界初「バガス焚ボイラ」を輸出

社是

技術を大切に 人を大切に 地球を大切に

経営理念

世の中が必要とするもの、世の中に価値があると認められるものを生み出すことで、社会に貢献し、企業としての価値を高め、長期的な発展と、すべてのステークホルダーの満足をめざす。

田熊汽罐創業の精神である《汽罐報国》※を今日の言葉に置き換えますと、自らが生み出す財・サービスによって世の中に貢献するということになります。これは現在企業経営の重要課題となっておりますCSR（企業の社会的責任）にも通じる理念ともいえます。タクマならびにタクマグループの経営理念は、この創業の精神にあります。

※ 汽罐報国

当社の創業者であり、明治・大正期の日本十大発明家でもあった田熊常吉翁が掲げた当社（当時は田熊汽罐製造株式会社）の社是で、「汽罐＝ポイラ」の製造・販売・サービス等の企業活動を通して「報国」すなわち社会に貢献することを意味します。

■環境・エネルギー（国内）①

一般廃棄物処理プラント



ごみ焼却プラントの納入件数 **国内最多**

自治体向け

ごみ焼却プラント、延命化改良工事、メンテナンスなど

- ストーカ式焼却炉
- メタン発酵システム
- 破碎・選別システム



ごみ焼却プラント

EPC※1事業

長期運営事業（DBO※2含む）

◇DBO事業は建設中を含め**13**の実績(2019年度)

- ※1 EPC：設計、調達、建設を含む、プロジェクトの建設工事請負契約 (Engineering・Procurement・Construction)
- ※2 DBO：公共が資金調達を負担し、施設の設計、建設、運営を民間に委託する方式 (Design・Build・Operate)



ごみ焼却プラント（DBO事業）

■環境・エネルギー（国内）②

エネルギープラント



長年にわたるノウハウの蓄積と数多くの実績
FIT制度のバイオマス発電プラント納入件数 **国内最多**

民間事業者向け

バイオマス発電プラント、
産業廃棄物処理プラントなど

- 階段式ストーカ
- トラベリングストーカ
- 気泡流動層
- 循環流動層



バイオマス発電プラント



産業廃棄物処理プラント

使用する燃料から最適な燃烧方式を提案
長期運営（O&M※）も提供

※ O&M：オペレーションとメンテナンス（Operation & Maintenance）

■環境・エネルギー（国内）③

水処理プラント



(関連するSDGs)

創エネ、温室効果ガス削減に優れた下水汚泥焼却発電システム開発

自治体向け

汚泥焼却発電プラント、下水処理プラントなど

- 階段炉下水汚泥焼却発電システム
- 上向流移床型砂ろ過装置、脱窒型砂ろ過装置
- 低動力縦型攪拌機



汚泥焼却発電プラント

下水汚泥焼却熱を利用した発電技術の実用化
省エネ、維持管理性も重視した製品開発



上向流移床型砂ろ過装置



■ 環境・エネルギー（海外）

バイオマス発電プラント、廃棄物処理プラントなど

- プラントの販売・アフターサービス



■ 民生熱エネルギー

小型貫流ボイラ、真空式温水機など

- 各種ボイラ及び関連機器の製造・販売



■ 設備・システム

建築設備、半導体産業用設備、クリーンシステムなど

- 空気調和設備、給排水衛生設備などの設計・施工
- クリーン機器、洗浄装置、ケミカルフィルタなどの製造・販売



本資料および決算説明会で提供する情報のうち業績見通しおよび事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいています。リスクや不確実性を含んでおります。

従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果になりうることをご承知おきください。

当社がこの資料を発行後、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新、または修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属し、目的を問わず、当社に事前の承諾なく複製または転用することなどを禁じます。

環境・エネルギー(国内)の業績内訳

(億円)

2020年3月期	受注高	売上高	受注残高
一般廃棄物処理プラント	855	706	2,426
エネルギープラント	319	282	884
水処理プラント他	56	92	62
合計	1,231	1,081	3,373